



# 善正寺だより

掲示板法話

## 「弥陀の本願信ずべし」

### 悲嘆の中に如来召喚の声を聞く

親鸞聖人七十五回大遠忌法要が近づいて参りました。五十五年前(一九六一年)、十五歳の春、私は七百回大遠忌法要に遇わせて頂きましたので、生涯二度目の大遠忌法要であります。

先日、収蔵庫の片隅に親鸞聖人御執筆の国宝「三帖和讃」、すなわち「浄土和讃」、「高僧和讃」、「正像末和讃」の複製本が立派な桐箱の中に収められているのを発見しました。国宝「三帖和讃」の原典は高田本山に所蔵されていますが、複製本については生前父が買い求めたことを知らぬ訳ではありませんでした。しかし、父亡き後一度も手に取ることなく収蔵庫の片隅で眠っていたのです。親の心子知らず、お恥ずかしい限りです。開いてみると、随所に手書きのメモが差し挟んであり、父の筆跡に懐かしさを覚えました。

「浄土和讃」、「高僧和讃」は聖人が七十五、六歳の頃お書きになったものと言われますが、「正像末和讃」はそれから約十年後の制作です。御和讃と共に事細かな御註釈の左訓が至る所に添えてあります。電灯も暖房もなく、眼鏡もなかった時代に高年齢の聖



人が、心血を注いでお詠み下さった「正像末和讃」に一層惹かれます。

「正像末和讃」の締めは「存じ三十五首目の恩徳讃ですが、その後には「康元二歳丁巳二月九日夜寅時夢の告げにいわく」と書かれ、「弥陀の本願信ずべし 本願信ずる人は皆撰取不捨の利益にて無上覚をば覚るなり」と「夢告讃」が記されています。更に、「この和讃を夢に仰せつかふりて嬉しさに書きつけまひらせたるなり」と閏三月一日付けのお喜びの言葉が添えられてあります。でも、それは善鸞事件により長子・善鸞を義絶された八か月後のことでした。親鸞聖人は親としての悲嘆を抱きつつも、「弥陀の本願信ずべし」という如来召喚の声を夢のうちに感得されて、「最高の覚り」を賜ったとの慶びの思いから筆を染められたのが正像末和讃です。

この夢告の御和讃は「宗祖讃仰作法」音楽法要の中で一緒に唱えさせて頂きます。父の残した国宝「三帖和讃」の複製本を味読しつつ、生涯二度目の



〒:512-0902  
三重県四日市市  
小杉町1014  
浄土真宗  
本願寺派  
善正寺  
TEL:0593-31-1670  
FAX:0593-32-0733

#### ☆行事ご案内☆

### ◇初参式・降誕会(ごうたんえ)

4月16日(土)午後1時 赤ちゃん募集、千円

講師:加藤幸子先生、主催:三全仏教婦人会

### ◇4月の門信徒会例会

4月17日(日)夜7時半

- ① 28年度総会(5/29)の準備(新行事、役員推挙等)
- ② 大遠忌法要執行の準備(音楽法要、当日の役割確認など)

◇絵手紙教室 4月12日(火)午前10時 庫裏食堂8回目  
◇キッズサンガ 4/2(土)4時。鐘つきは毎夕5時年中無休  
◇三重組コーラス4/7(木)午後 西勝寺様で練習、  
善正寺ホームページ「三重 善正寺」で検索。1年分の寺報閲覧。  
毎日更新のブログ「住職と坊守のつれづれ日記」が好評。開設7年8か  
月で20万突破訪問、一日約90訪問以上、悩み相談、大歓迎!即返信  
◇『一縁会テレホン法話』059・354・1454へ電話  
新刊15冊目法話集『たつた一つの道』(自照社800円+税)

『親鸞聖人750回大遠忌法要』5/15までの予定  
5/7(土)午後、役稚児さん、献華献灯者・楽人他の練習  
5/8(日)門徒総出の準備作業、掛け出し、掃除等、  
5/14(土)夕方役稚児・音楽法要、関係者最終打ち合わせ、  
◇新納骨堂:後継者のない方、お墓でお困りの方ご相談下さい  
◇法事場所でお困りの方、寺にご相談下さい。本堂使用可

### 今月の写真アラカルト

左:法要のしおり  
右:「夢告讃」・2月9日夢告の添書

左:鐘つき風景  
下:稚児申込ご家族と共に

2016.03.05 10:24

親鸞聖人大遠忌法要の日をお待ちしたいと思えます。どうぞ皆様、ごぞつてお参り下さいませ。南無阿弥陀仏。

# 坊守スケッチ

## 未病の自覚



高齢者の仲間入りをする、体の不調を訴える人が多くなる。何枚も診察券を持っている人やサプリメントを飲んでいて人など様々。健康と病気の間にあるグレーゾーンを「未病」というそうだ。私もその真つただ中にある。内閣官房参与の大谷泰夫氏は「人間の健康は、健康か病気の二分法で考えられてきたが、中高年の実情を考えるとそうではない。血圧、中性脂肪、膝・腰の痛み等問題を抱える人が多いが、不自由なく日常生活を送る。未病は生き方にも関わる。自分は病人と違って弱気で暮らすのではなく、暮らし方の仕方を考える。食生活を見直し、運動を取り入れる。未病を意識することは重要だ。従来の医療に頼る「治療する」という呪縛から逃れて、問題を抱えながらも自分の体質や病気と共存するという考え方が未病の根幹」と説明する。

垂坂山の散歩で出会う人は、必ずしも健康な人ばかりではない。むしろ大病を経験した人が多い。その人達が同様にいう言葉は「失つて初めて知る健康の有難さ」。後遺症や再発の不安と闘いながらも、日々生かされていることに感謝するために歩き続ける。「死ぬまでは生きているのだから、この一息一息が生きている証です」と明るく答える。彼らから今を生きる有難さを教えられる。私達は実際自分自身

が病気に出会わないと、それに気づけないのだろうか？

未病の自覚と言うのは、何も体に限ったことではない。私達の心の持ち方や生き方にも関わる。「自分こそ善人、悪人は相手だ」と、苦勞の原因を他人に転嫁している間は、悩みが解決しない。自分にも落ち度はあったと謙虚に自分を反省すると、意外にも解決の糸口が見つかる。一時の気休めで問題解決を紛らわすのではなく、仏法を聴聞して心を育てて、『未病の自覚』を持つて逞しく生き抜きたいと思う。

### 寄稿

※寺の華 覚えて今年で 五十年 御遠忌最後の 御奉公かな (釈俊悦) 元総代の伊崎栄一氏、館久夫氏、伊崎頭次氏らに立華のご奉仕をお願いしました。準備期間に一月以上要しました。御報謝に厚く感謝します。

### 【ご法要までのタイムスケジュール】

- ※5/7(土) 午後役種児、他練習
- ※5/8(日) 午後法要準備門徒全員
- ※5/14(土) 夕方、役種児他練習
- 5/15(日) 『親鸞聖人七五〇回大遠忌法要』午後一時種児行列、音楽法要、講演(河内美舟先生・山口県)
- 5/29(日) 午前 門信徒会総会、

◇三全仏教婦人会主催「初歩式」の森ちゃん・坊児を大募集中4月16日(土)午後1時より。参加費千円。

### ☆若院夫婦の『育自な毎日』その18

二月の中旬、嬉しいお客様がありました。松阪に住む父方の祖母(93)と、伊勢に住む母方の祖父(87)が、私の両親と一緒に来てくれました。4歳と1歳になるひ孫に会うのが目的ですが、本当は私がどんな寺に嫁ぎ、どんな風に暮らしているのか、一度見たかったのではないかと思います。

祖母は昔、洋品店を営んでいて、私の子供の頃には時々大阪の間屋街に連れて行ってくれました。週末には父の自転車に乗せてもらい、祖母におやつを貰うのが楽しみでした。

祖父はいつも優しく筆まめで、もらった手紙は全て達筆で感心しました。私が幼い頃は、雛飾りを組み立てに、わざわざ松阪まで来てくれました。祖母は「あんたに会うと寿命が延びるんよ」と言ってくれます。お世辞でも嬉しいのですが、少しでも健康で長生きして欲しいなあと思っています。

祖父の来訪中、子供達が活発に動き回るので、疲れさせたのではと心配しました。子供達もひいばあちゃん、ひいじいちゃんに会えたので大喜び！今度は私たちの方から祖父母に会いに行きたいと思います。(若坊守記)



### ホットニュース

◇『ご法要の楽』300部の作成を、先月の門信徒会例会で「門徒さん達にお手伝い頂きました。全て手作りです。」

◇種児行列が入堂するまでの時間、仏教讃歌を歌います。リード役は稲葉聖恵さん(三重オペラ協会)と聖合智美さん(ピアノ)。一緒に歌いましょう！

◇音楽法要のキーボードを山本夏菜さん(山本守氏孫)、司会を飯島実優さん(白井孝義氏の孫)にお願いしました。

◇『ご法要講師・河内美舟先生を紹介』山口県美祿市明蓮寺前坊守で、社会福祉法人理事長。高齢者、障害者、難民、里子などに常に弱者に寄り添って行動する坊守さん。過疎地に23年前から一大福祉村を建設し運営。「日本のマザーテレサ」と呼ばれています。数多くの賞を受賞されて、著書も多数。

◇「御種児さん募集、締め切り4月末まで延長。参加費5千円。ご参加下さい。献華・献灯者の衣装は白ブラウス、黒ロングスカート。式章、事前に説明。

### ☆ 編集子より ☆

「善正寺だより」第二六八号をお届けします。◇「保育園落ちた。日本死ね！」と母親が絶叫。共感相次いで国会議員も追及のネタにする園に！◇平安から鎌倉時代の動乱、災害に苦しむ世の中を見つめ、末法の思想が広がった。◇大人の言葉にあるまじき言葉、考え方が跋扈するこの時代も末法の世か？◇闇を破る灯に遇う道は何処に。

満開の桜の下で新しい人生のスタートを迎える人も多いと  
でしょう。五月十五日の親鸞聖人七五〇回大遠忌法要まで約一ヶ  
月半と迫りました。役権児さんと献華・献灯者の練習や  
雅楽とキョードの音合わせ(いずれも各々5/4の午後)、門徒総  
出の法要準備(各午後)、立華衆の奉仕作業等慌  
ただしい日程が続きます。ご協力頂く皆様にはどうか  
よろしくお願い致します。先日あるブログで「炭坑節」  
の替え歌を知りました。私流に少しアレンジして紹介します。  
「ご愚痴が出た出た 愚痴が出たヨイヨイ どうにもなない 愚痴  
が出た あんまり愚痴が多いので さそや他人様 煙たかろうサ  
ヨイヨイ (2) 腹が立つ立つ 腹が立つヨイヨイ 横になっても腹が  
立つあんまり怒りが強いので さそや他人様 呆れ顔サノ  
ヨイヨイ (3) 欲が出た出た 欲が出たヨイヨイ またまた欲しいと  
欲が出た あんまり欲が深いので さそや他人様 滑稽たらなサ  
ヨイヨイ (4) 私を救うと云うのならヨイヨイ あなた一筋心だ  
この身このまま任せます 阿弥陀様に任せますサノヨイ  
ヨイ」法座の余興に手拍子をしながら歌うと盛り上がる  
かむかしれませんね。特に一番二番三番の歌詞は、私の  
ことを言い当てられたような気がして 恥しくなりました。  
ところで4月16日(土)は三全仏婦主催の初参式、降誕会が  
あります。初参式を受けける赤ちゃん大募集中です。  
若嫁も公園で出会ったママ友に呼びかけたら応募して下  
さったそうです。皆様の熱意が仏縁を広がる源です。ご協  
力よろしくお願ひ申し上げます。 合掌

平成二十八年四月

善正寺坊守拜